２０２１年度

入学試験問題

社　　会

４０分

１．受験番号・氏名を解答用紙に書くこと。
２．受験番号は算用数字で書くこと。(例:123)
３．鉛筆(えんぴつ)などの筆記用具・消しゴム以外は使わないこと。
４．用紙を立てて見ないこと。
５．質問(印刷不明のところだけ)のある場合，鉛筆などを落とした場合，トイレに行きたくなった場合，気持ちが悪くなった場合は，だまって手をあげること。
６．解答用紙のみ回収します。

いま，日本の路上でよく使われている**くるま**（車輪がついた乗り物）には，自動車，自転車，オートバイがあります。３つの**くるま**のうち，日本でもっとも古くから使われていて，いちばん台数が多かったのは自転車です。ここでは，自転車を中心にして人が乗る**くるま**のことを考えることにします。

Ⅰ　右のページの**表**は，ある都市を①～⑦の地域に分け，それぞれの地域で通勤・通学者が用いる交通手段の割合(%)を表したものです。①～④の地域は，**図１**の①～④にあたります。なお，**図１**は灰色が濃(こ)いところほど，地表面の傾(かたむ)きが急であることを表しています。これらの**表**と**図１**をみて，あとの問に答えなさい。

問１　**表**と**図１**をみて，**表**の①～④について利用交通手段と地表面の傾きの関係をよく表している交通手段を１つ取り上げ，その関係を説明しなさい。

問２　**表**の⑤～⑦は，**図１**の**ア**～**ウ**のうち，それぞれどの地域にあたりますか。**問１**で考えたことをもとに答えなさい。

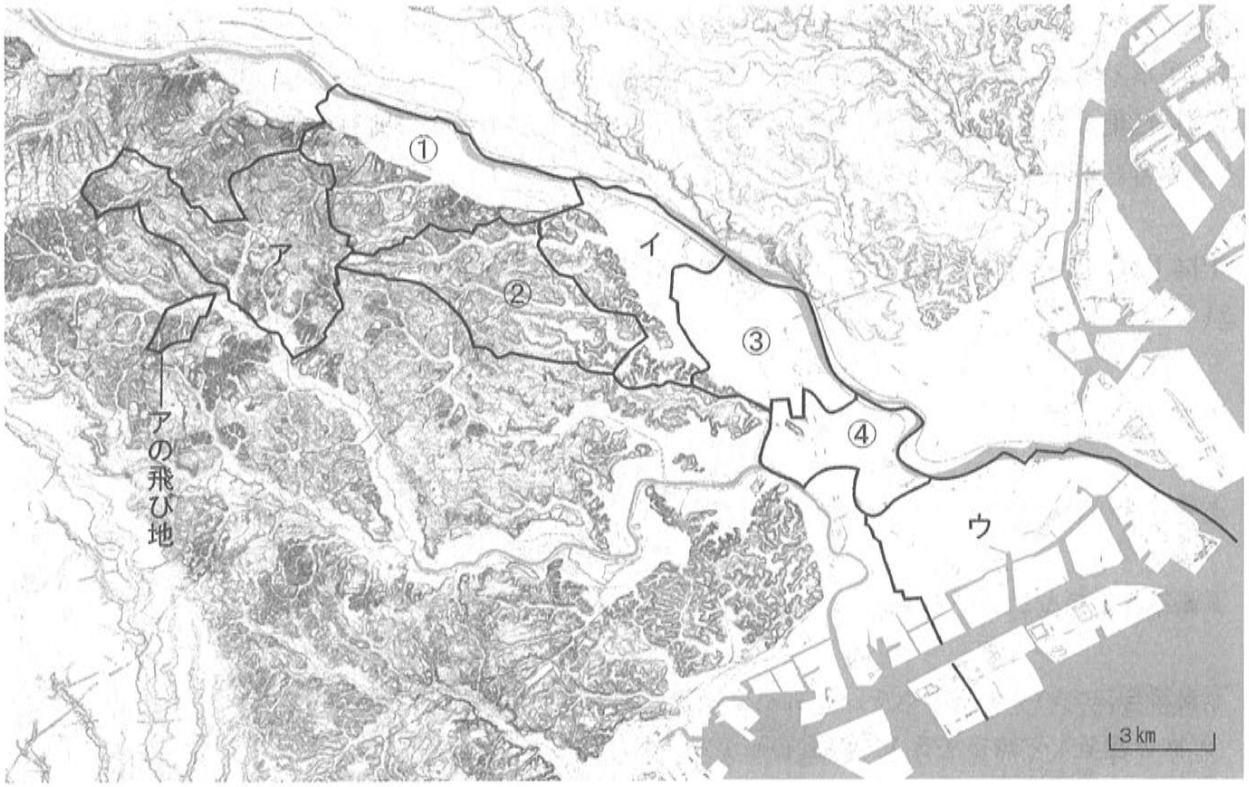
表　ある都市の通勤・通学者が用いる交通手段の割合　（%）

利用交通手段＼地域	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
徒歩のみ	7	7	7	8	8	6	6
鉄道(他の交通手段との組合せを含む)	64	60	67	53	40	60	67
バス	1	5	1	6	7	3	4
自動車・タクシー	8	12	5	8	10	8	11
オートバイのみ	3	5	2	3	3	3	3
自転車のみ	8	4	11	14	21	10	2
その他 ※	7	9	7	9	12	9	7

2010年国勢調査をもとに作成。　注）四捨五入したため，合計が100にならないことがある。

※鉄道以外の交通手段を2種類以上組み合わせた場合など。

図1　ある都市の地表面の傾き



地理院地図より作成。注）水色のところは川や海を表す。

Ⅱ 次の文章を読んであとの問に答えなさい。

ここでは，自転車が使われるまでの乗り物の歴史をふりかえってみましょう。

日本でもっとも古い**くるま**は牛車で，平安時代から貴族が乗るようになりました。牛車は，①人を乗せる**くるま**を牛に引かせたものです。貴族たちが牛車に乗る様子は，②『枕草子』などの文学作品に書かれています。身分の低い者は，牛車に乗ることを禁じられていました。

貴族のほかにも，鎌倉幕府や，室町幕府の将軍は牛車に乗りました。しかし，室町時代，③将軍のあとつぎをめぐる争いに有力な武士たちも加わった大きな戦いによって京都が荒廃すると，牛車はすたれました。それから長い間，日本で**くるま**が使われることはめっきりと減りました。

江戸時代には④人がかついで運ぶ乗り物が使われました。これは町の中だけでなく，⑤街道を往来するのにも使われました。この乗り物は武士のほか，百姓や町人も使いました。ただし，身分の高い武士のものは豪華につくられていて，外からは中に乗っている人がわからないようになっていました。

くるまの利用が目につきはじめるのは，開国以後です。外国人が日本に馬車を持ち込んで走らせるようになりました。

馬は⑥縄文時代には日本にいましたが，人が馬に乗るようになったのは⑦古墳時代からでした。武士の時代には，⑧武士にとって馬はなくてはならないものでした。牛車は平安時代から使われていましたが，日本で**くるま**を馬に引かせる馬車が走ることは開国するまでありませんでした。

明治維新後の 1869 年から，乗客を運ぶ乗合馬車が横浜－東京間を走りました。人々は運賃を払いさえすれば，馬車で横浜－東京間を，徒歩よりも短い時間で行けるようになりました。⑨1871 年には，政府が平民に馬に乗ることを許しています。そのころ，馬車にヒントを得て⑩日本人が新しい**くるま**を発明し，人々の足として大歓迎されました。

問１ 牛は下線部①や荷物を運ぶほかに，どのような仕事に使われていましたか。重要なことを１つ答えなさい。

問２ 下線部②の作者は誰ですか。

問３ 下線部③の戦いをなんといいますか。

問４ 下線部④をなんといいますか。

問５ 下線部⑤についてまちがっているものを，ア～エから１つ選びなさい。

ア 荷物を運ぶ人や旅をする人で，宿場町が栄えた。

イ 大名は，参勤交代のために街道を行列して領地と江戸とを往来した。

ウ 街道には関所がおかれ，「入り鉄砲と出女」をきびしく取りしまった。

エ 朝廷のある京都を起点にして，五街道が整備された。

問６　下線部⑥の時代の遺跡では，馬の歯や骨のほかに，食べ物の残りが発見される場合がありますが，そのような遺跡をなんといいますか。

問７　下線部⑦の時代に朝鮮や中国から来日して，乗馬の技術や新しい土器や織物の製作方法などを伝えた人々をなんといいますか。

問８　下線部⑧について，鎌倉時代の御家人が馬に乗ってつとめた奉公にはどのようなことがありますか。

問９　下線部⑨から西南戦争までの間に政府が平民について定めたこととしてまちがっているものを，**ア**～**エ**から１つ選びなさい。

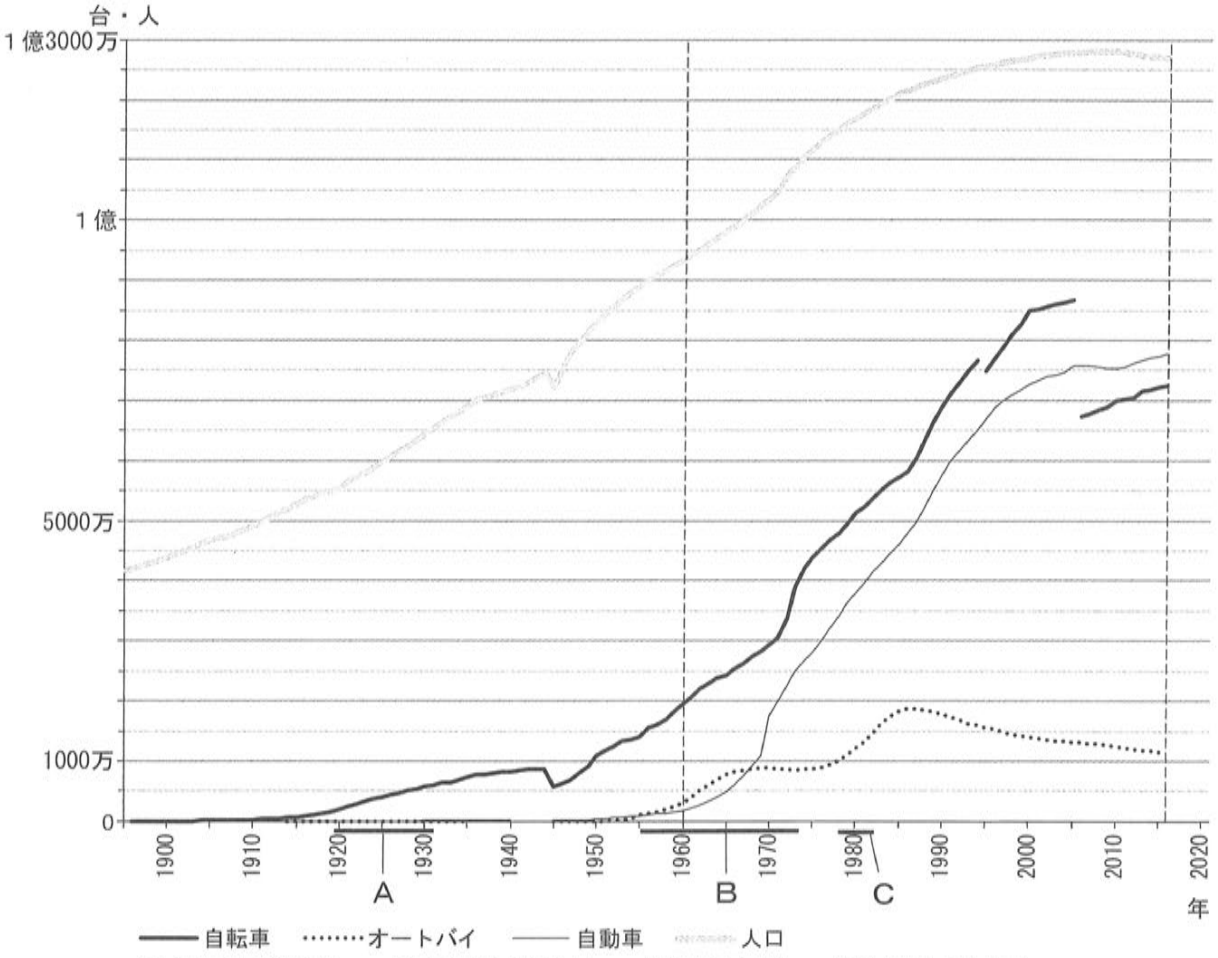
ア　自由に刀を身に付けることを認めた。
イ　苗字を名乗ることを認めた。
ウ　軍隊に入ることを義務付けた。
エ　子どもを小学校に行かせることにした。

問 10　下線部⑩について，この新しい**くるま**をなんといいますか。

問 11　Ⅱの問題文や問に答えたことをもとに，江戸時代までと明治維新以降で，身分によって利用できる乗り物がどのように変化したか，まとめなさい。

Ⅲ　自転車は，日本では開国以後に使われはじめ，日本の自転車の台数は1896年から記録に残っています。その年には1万9000台の自転車があり，割合にして2000人に1台もありませんでした。それ以後の**くるま**の台数と人口の移りかわりを示した**図２**をみて，あとの問に答えなさい。

図２　日本の自転車・オートバイ・自動車の台数と人口の移りかわり



『日本帝国統計年鑑』，『日本帝国統計全書』，『世界歴史統計』，『日本自動車産業史』および自動車工業会資料，『自転車の一世紀』，『自転車統計要覧』，『数字でみる日本の100年』をもとに作成。1995年以後の自転車の台数は，調査ごとにわけて示しているため，グラフに途切れているところがある。

問１　次の文章の空らんにあてはまる言葉を答えなさい。

図２のＡのころには，人が乗る**くるま**のほかに荷物を運ぶために人や動物が引く荷車が220万台から260万台あり，**くるま**も荷車も全国でいまのような（ａ）通行をすることになりました。交差点には（ｂ）が設置されはじめ，それまでの人による交通整理からかわっていきました。歩行者も（ａ）通行と決められていましたが，こちらはのちに（ｃ）通行にかえられていまにいたっています（歩道と車道の区別がある場合などをのぞく）。

問２　1960 年にはおよそ何人に１台の割合で自転車があったことになりますか。**図２**をみて，正しいものを**ア**～**エ**から１つ選びなさい。

ア　２～３人に１台　　**イ**　４～５人に１台　　**ウ**　６～７人に１台　　**エ**　８～９人に１台

問３　**図２**の**B**のころについて，（１）と（２）に答えなさい。

（１）このころの出来事についてまちがっているものを，**ア**～**エ**から１つ選びなさい。

ア　東京と大阪の間にはじめての新幹線が開通した。

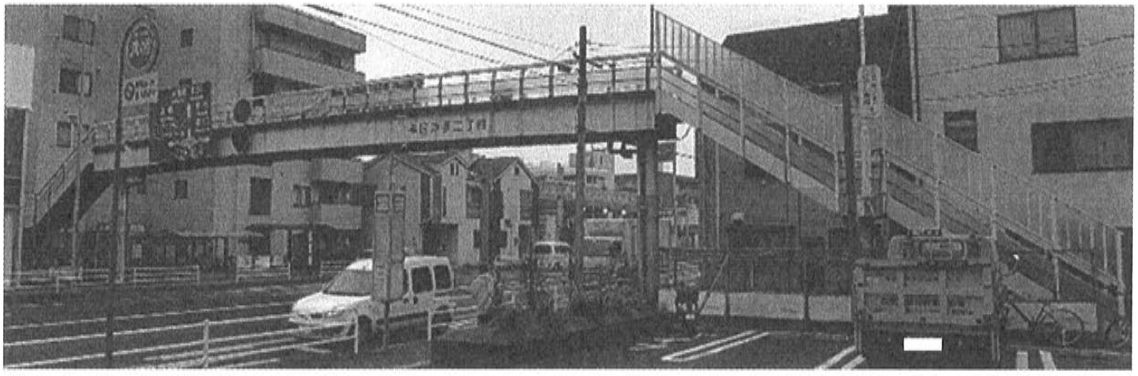
イ　滋賀県と兵庫県の間にはじめての高速道路が開通した。

ウ　郊外（こうがい）の団地に住む人が増え，朝の時間に都会にむかう通勤電車の混雑が激しくなった。

エ　工業だけでなく農業もさかんになり，農業で働く人の数が大きく増えた。

（２）このころから，下の**写真**のような，歩行者が道を渡（わた）るための施設（しせつ）がつくられるようになりました。これをなんといいますか。

写真



問４　**図２**の**C**のころから，駅前などの放置自転車が問題になりました。この問題への対策として増やされた施設をなんといいますか。

問５　最近の自転車について，2016 年にはおよそ何人に１台の割合で自転車があったことになりますか。**図２**をみて，正しいものを**ア**～**エ**から１つ選びなさい。

ア　１～２人に１台　　**イ**　３～４人に１台　　**ウ**　５～６人に１台　　**エ**　７～８人に１台

Ⅳ　次の文章を読んであとの問に答えなさい。

日本で使われはじめたころの自転車は，欧米からの輸入品でした。①欧米との不平等条約によって自由に関税をかけることが出来ないころでも，自転車は値段が高くて一般の人には買えませんでした。

やがて日本でも，輸入品を真似て自転車がつくられるようになります。1881 年に東京で国内の博覧会が開かれたときに，はじめて日本人が自分でつくった自転車を出品しました。この博覧会は，政府が②国内の産業をさかんにするためにはじめた催物です。1900 年ごろには大阪府の③堺市で自転車部品を製造する工業がはじまっていました。しかし欧米の自転車にはかなわず，自転車を輸入に頼る時代が続きました。

ところが，④第一次世界大戦がおこると，日本国内で自転車の生産が進みました。日本製の自転車は，国内で売れただけでなく中国や東南アジアにも輸出されました。

日本の自転車生産台数がはじめてわかるのは 1923 年です。その年には 6 万 9000 台を生産し，輸入自転車の約 7 倍になっていました。以後しばらくの間，日本は自転車を輸入に頼ることはありませんでした。

問１　下線部①についてまちがっているものを，ア～エから１つ選びなさい。

ア　イギリスは，陸奥宗光との交渉で治外法権を廃止した。

イ　イギリスは，日露戦争がはじまる直前に日本に関税自主権を認めた。

ウ　アメリカは，小村寿太郎との交渉で日本に関税自主権を認めた。

エ　アメリカは，岩倉使節団と条約改正の交渉を行った。

問２　下線部②の政策をなんといいますか。

問３　下線部③で自転車の製造業がさかんになりましたが，その理由として正しいものを，ア～エから１つ選びなさい。

ア　古くから商業がさかんで，鉄砲や刀などの金属加工の技術を持った人が多かった。

イ　古くから銀の産地で，銀貨をつくる職人が集まっていた。

ウ　江戸時代の末に日米修好通商条約で開港地となり，海外から金属加工技術が採り入れられた。

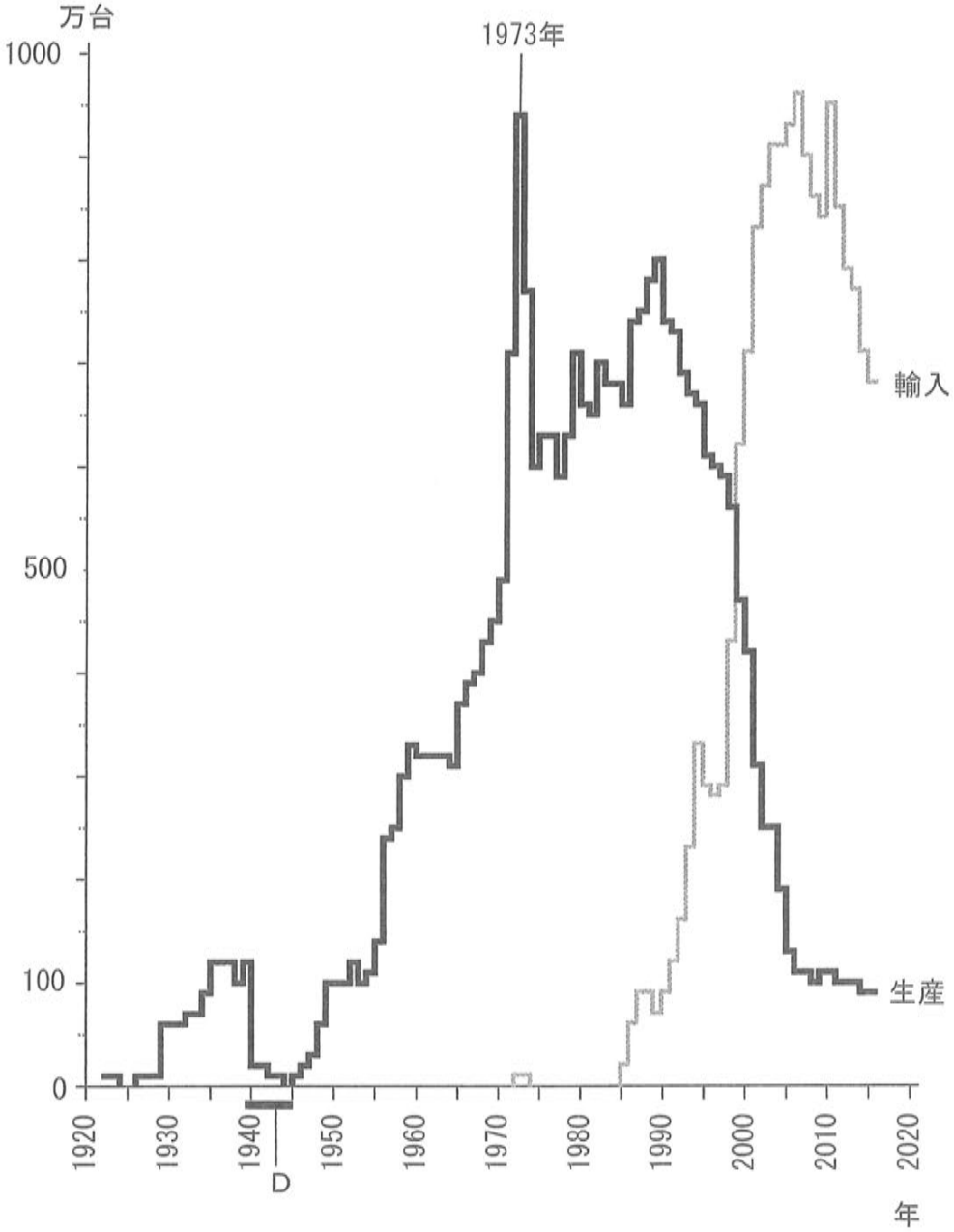
エ　明治時代に政府が戦争で得た賠償金を使って製鉄所を建て，鉄鋼の生産をさかんに行った。

問４　下線部④について，その理由を説明しなさい。

〔問題は次のページに続きます。〕

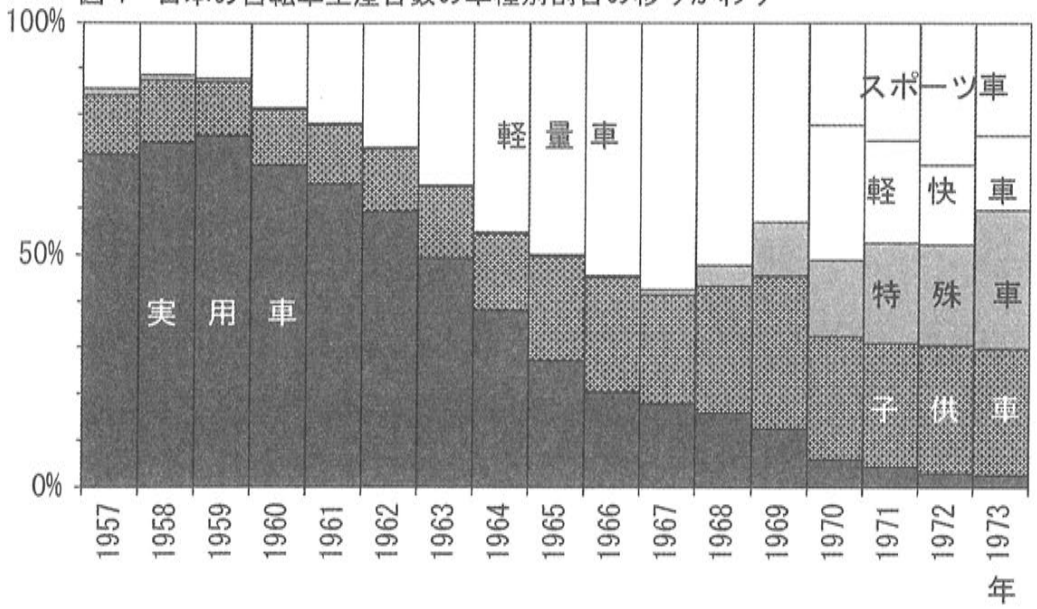
V　図３は，日本の自転車生産台数と輸入台数の移りかわりを示したものです。図４は，日本で 1957 年から 1973 年までの間に日本で生産された自転車の車種別割合の移りかわりを示したものです。これらの図をみて，あとの問に答えなさい。

図３　日本の自転車生産台数と輸入台数の移りかわり



『自転車の一世紀』，『自転車統計要覧』をもとに作成。

図４　日本の自転車生産台数の車種別割合の移りかわり



注）1970 年以後，軽量車は軽快車とスポーツ車に分けられた。

実用車：交番で使用されるものや，郵便物などの運搬に使われるもので重い。

子供車：小学生などの子供用につくられたもの。

スポーツ車：サイクリング，レジャー，その他のスポーツ用で軽い。

軽快車：通勤，通学，買い物用などで軽い。

特殊車（とくしゅしゃ）：軽快車よりも車輪の小さい大人用自転車，三輪自転車など。

『自転車統計要覧』をもとに作成。

問１　図３のＤのころに生産台数が落ち込んだのは，自転車工場が軍需品（ぐんじゅひん）をつくるようになったためでもあります。軍需品をつくる工場には女学生や中学生も動員されるようになりましたが，それはなぜですか。理由を説明しなさい。

問２　図３と図４をみて，1960～73 年における自転車生産台数と車種別の割合の変化を説明しなさい。

問３　図３のように，1980 年代の後半から自転車の輸入台数が増えています。人々が輸入自転車を買うようになったのはどうしてですか。おもな理由を答えなさい。

Ⅵ　５ページのⅢ以降の問題文や，問に答えたことをもとに，自転車が明治時代から今日までどのように広まってきたか，自転車の生産・輸入，自転車の使われ方の移りかわりとあわせて説明しなさい。

2021年度　**社　会**　解答用紙　（注意　※のあるところには記入しないこと。）

Ⅰ

問１

問２

⑤	⑥	⑦

※

Ⅱ

問１　問２　問３

問４　問５　問６

問７

問８

問９　問10

※

問11

※

Ⅲ

問１（ａ）（ｂ）（ｃ）

問２　問３（１）（２）

問４　問５

※

Ⅳ

問１　問２　問３

※

問４

Ⅴ

問１

※

問２

問３

※

Ⅵ

※

受験番号		氏名		評点	※